

**「総合調査 東日本大震災からの復興への取組の現状と課題」  
（『レファレンス』12月号）を刊行しました  
国立国会図書館ホームページから全文を読むことができます**

東日本大震災の発生から、まもなく4年を迎えようとしており、被災各地では、震災からの本格的な復興に向けた取組が続けられています。

国立国会図書館調査及び立法考査局は、震災からの復興をテーマとして総合調査を実施し、『レファレンス』12月号をその報告書としてまとめました。本調査では、震災後3年余を経た時点での復興への取組状況を改めて総括し、被災地の再生の在り方を展望することを目指しました。本報告書が震災からの一刻も早い復興の一助になることを願っております。

**■ 報告書の内容**

東日本大震災の状況を概観した上で、農業、放射能汚染、住宅、教育、雇用など各分野における復興への取組の現状と課題を、福島県を中心とした現地調査等の成果を踏まえ、10本の論文にまとめました。末尾には、調査及び立法考査局が今までに公表した東日本大震災関連の刊行物のリストを掲載しました。

**■ 入手方法**

報告書は、国会議員、都道府県立図書館等に配付します。

また、国立国会図書館のホームページにPDFファイルを掲載しています。

URL：<http://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/refer/2014/index.html>

国立国会図書館トップ>国会関連情報>『レファレンス』>2014年刊行分

**■ お問い合わせ先**

国立国会図書館 総務部総務課広報係 電話：03-3506-5103（直通）

\* 報道関係者には報告書1部をお分けします。ご希望の方はお問い合わせください。

